

September 5,

2024

Tropea Territorio_PJ

Tropea, Italy

Tetsuo Kobori Laboratory

0, Introduction

1, トロペアの現在

- 1) 産業
- 2) 観光形態

2, 食 Territorio

- 1) 調査で感じたギャップ
- 2) Territorio MAP

3, 建築 Territorio

- 1) 空間 Territorio
- 2) 構法 Territorio
- 3) 現地調査

4, 建築提案

- 1) コンセプト
- 2) 分析
- 3) 計画 / 体験

5, Vision

6, 終わりに

0, Introduction

1, トロペアの現在

- 1) 産業
- 2) 観光形態

2, 食 Territorio

- 1) 調査で感じたギャップ
- 2) Territorio MAP

3, 建築 Territorio

- 1) 空間 Territorio
- 2) 構法 Territorio
- 3) 現地調査

4, 建築提案

- 1) コンセプト
- 2) 分析
- 3) 計画 / 体験

5, Vision

6, 終わりに

Tropea Territorio_PJ

Tropea, Italy



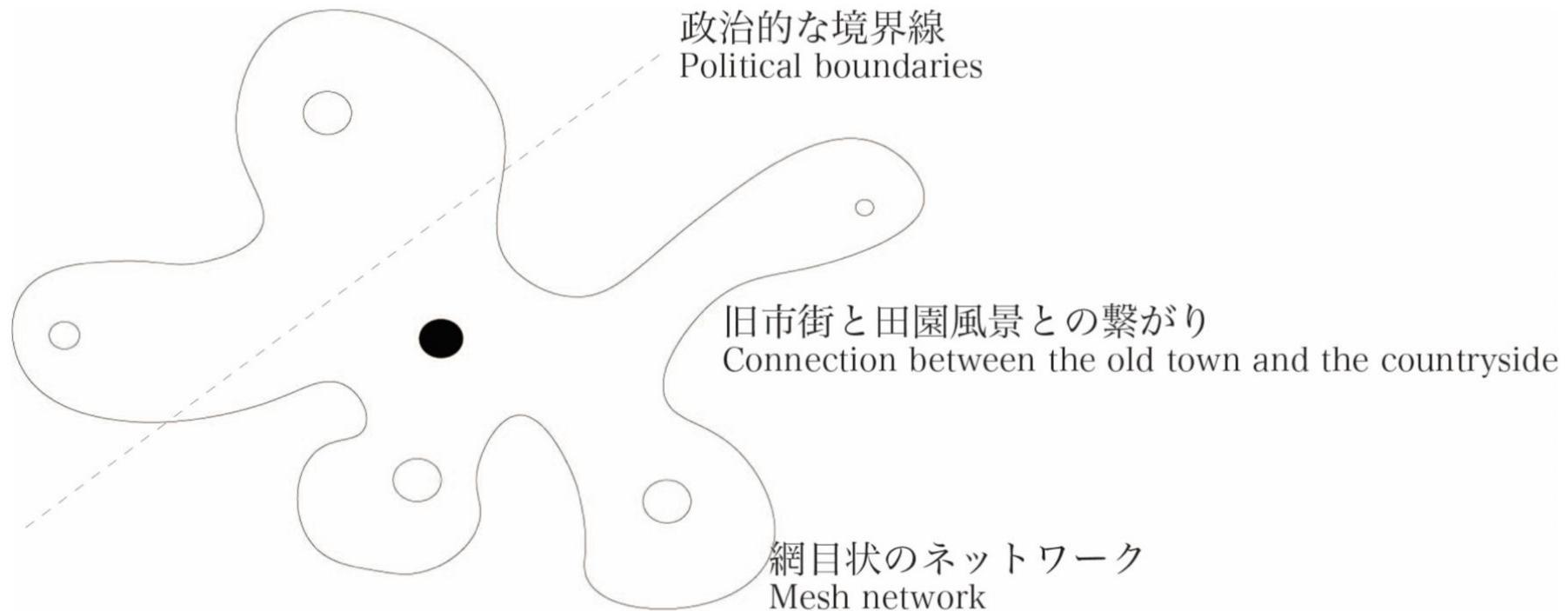
Previous Project of Kobori Lab



福井 Territorio



流山 Territorio



小堀研究室でのテリトーリオの再定義
Redefining territory in the Kobori laboratory

“テリトーリオ” = “ノンスケールの全体性”
“Territorio” = “Non-scale Entirely”

in Italy



陣内先生と共にTropeaまで南下し、濃い文化、テリトリアを肌で感じ、理解を深めてきた。

Research of Tropea



● 9/1 旧市街地調査

● 9/2 パルゲリーアの調査

● 9/3 周辺のカザーレの調査
提案敷地の調査

● 9/4 市場の調査、提案準備

● 9/5 教会にてプレゼンテーション

The Untold Story of Tropea



その調査を通じて、わかりやすいものの背後に隠れている、語られることのない物語 を発見した。

0, Introduction

1, トロペーアの現在

- 1) 産業
- 2) 観光形態

2, 食 Territorio

- 1) 調査で感じたギャップ
- 2) Territorio MAP

3, 建築 Territorio

- 1) 空間 Territorio
- 2) 構法 Territorio
- 3) 現地調査

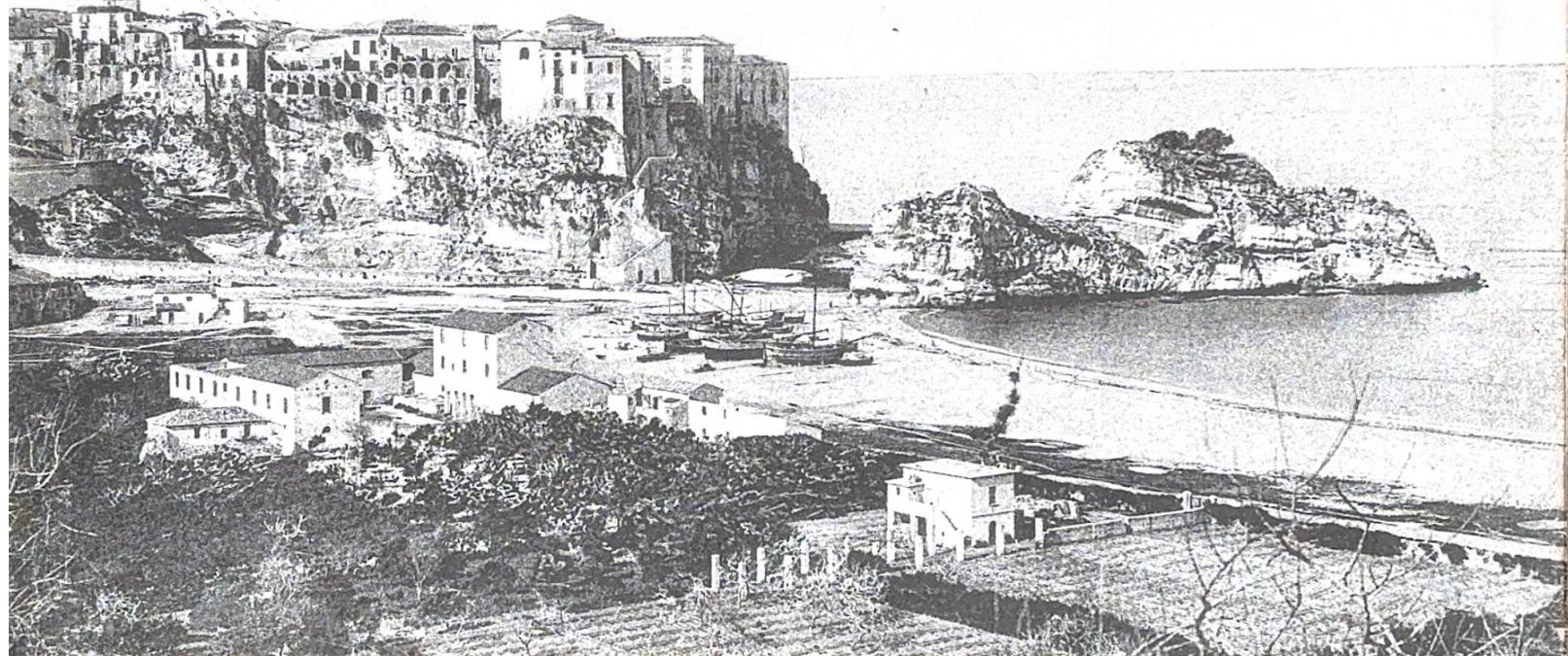
4, 建築提案

- 1) コンセプト
- 2) 分析
- 3) 計画 / 体験

5, Vision

6, 終わりに

Culture of Tropea - ①産業



かつては産業である農業、漁業、牧畜、織物産業が主軸だった。

調査を進めると、貿易都市であり、生産は周辺の23のカザーレによって支えられた現在の行政区画とは違ったTropeaのテリトーリオが浮かび上がってきた。

Culture of Tropea - ①Industry



現在は観光都市であり夏には約6000人の観光客がこの場所を訪れる。

反対に冬場には約5000人と季節によって街の色が大きく異なっている。

0, Introduction

1, トロペーアの現在

- 1) 産業
- 2) 観光形態

2, 食 Territorio

- 1) 調査で感じたギャップ
- 2) Territorio MAP

3, 建築 Territorio

- 1) 空間 Territorio
- 2) 構法 Territorio
- 3) 現地調査

4, 建築提案

- 1) コンセプト
- 2) 分析
- 3) 計画 / 体験

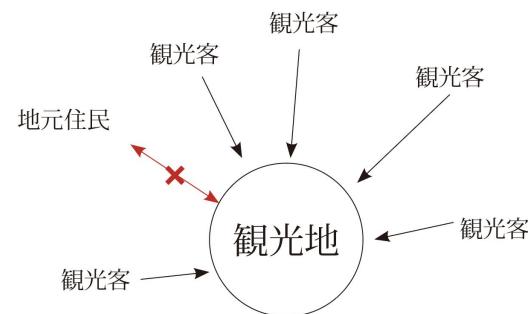
5, Vision

6, 終わりに

Culture of Tropea - ①観光形態



京都

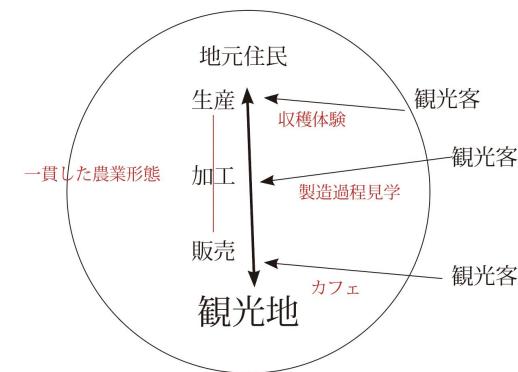


オーバーツーリズム

特定の地域に観光客が集中

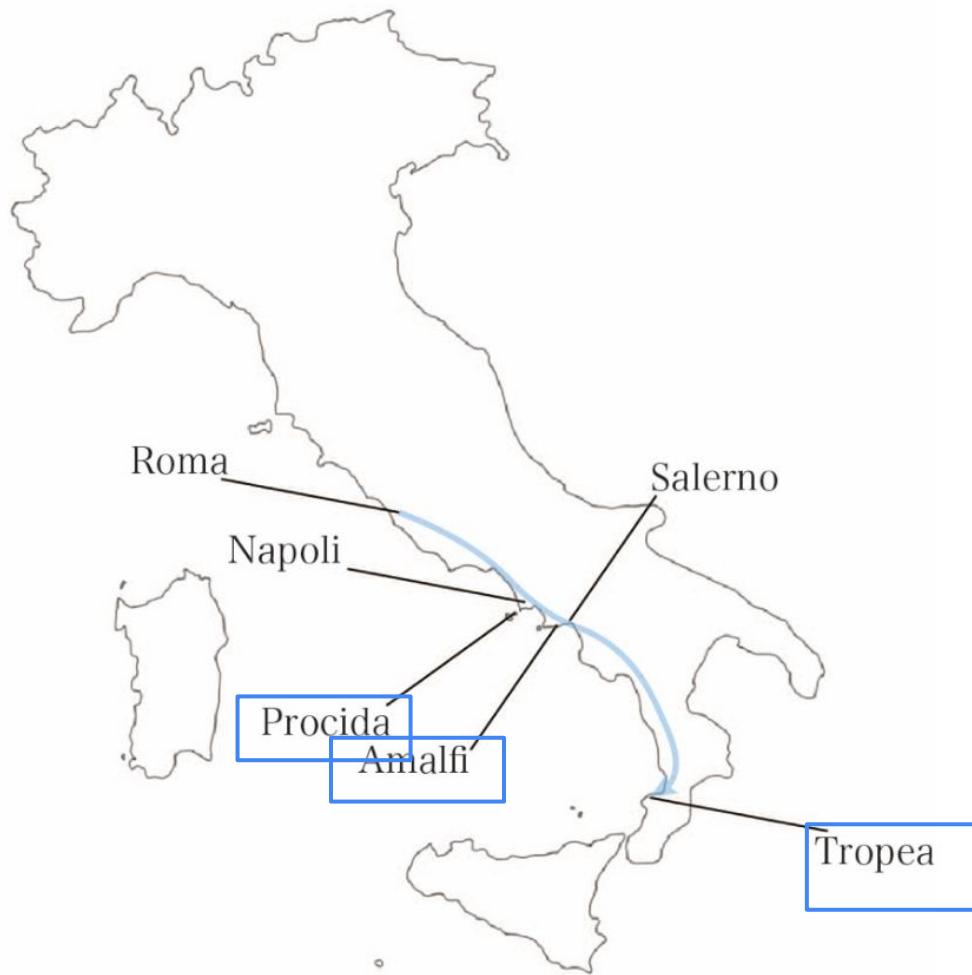


福井



アグリツーリズム

観光客が農業活動に参加、農家にとって収入源の多様化

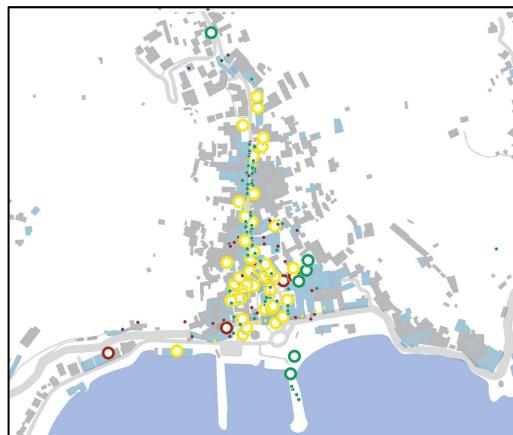


今回の比較対象である3都市 / プロチダ島、アマルフィ、トロペーア

Culture of Tropea - ①観光形態

今では観光業がメインになり、近年でのB&Bの参入によりオーバーツーリズムが発生している。

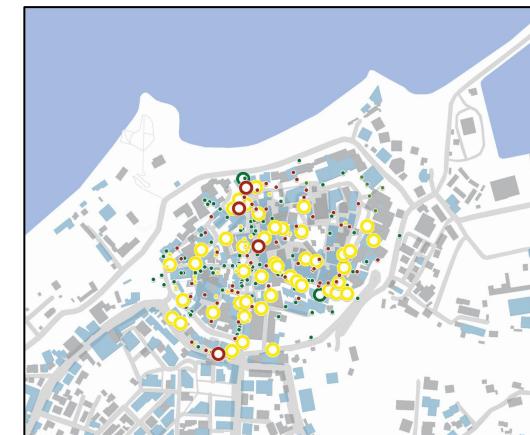
そこでTropeaのオーバーツーリズムの特徴を3つの地域プローチダ、アマルフィ、トロペーアのプロット図を作成し、比較することで分析した。



Amalfi



Procida



Tropea

Culture of Tropea - ①観光形態

<分析方法 Analysis method>

観光施設、飲食店、宿泊施設の3要素のプロットを行う。

観光施設(緑):教会、土産物屋など、飲食店(黄)、宿泊施設(赤):ホテル、B&Bなど全てを含む

それぞれGoogleマップのレビュー数が200未満を小丸、200以上を大丸でプロットする。



観光施設 Tourist facilities



飲食店 Restaurants



宿泊施設 Accommodation facilities

Googleマップのレビュー件数
Number of reviews on Google Maps



200件以上
More than 200 items



200件未満
Less than 200 items

Culture of Tropea - ①觀光形態



Amalfi

Culture of Tropea - ①觀光形態



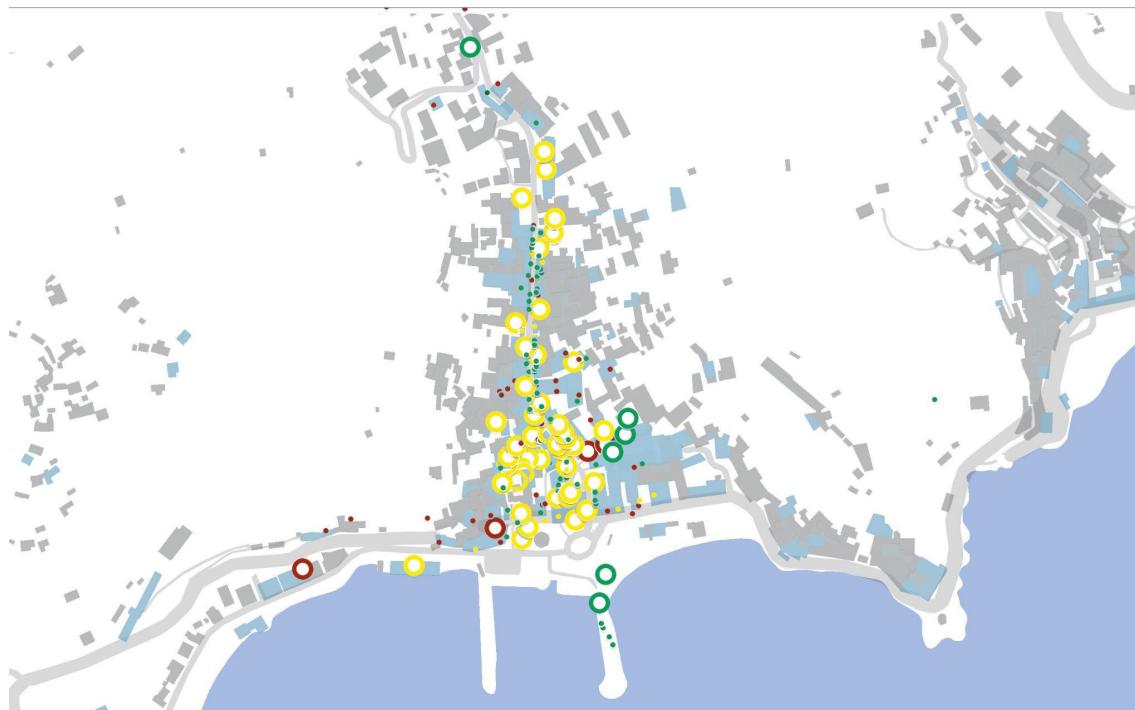
Culture of Tropea - ①觀光形態



Amalfi

Culture of Tropea - ①観光形態

分析①

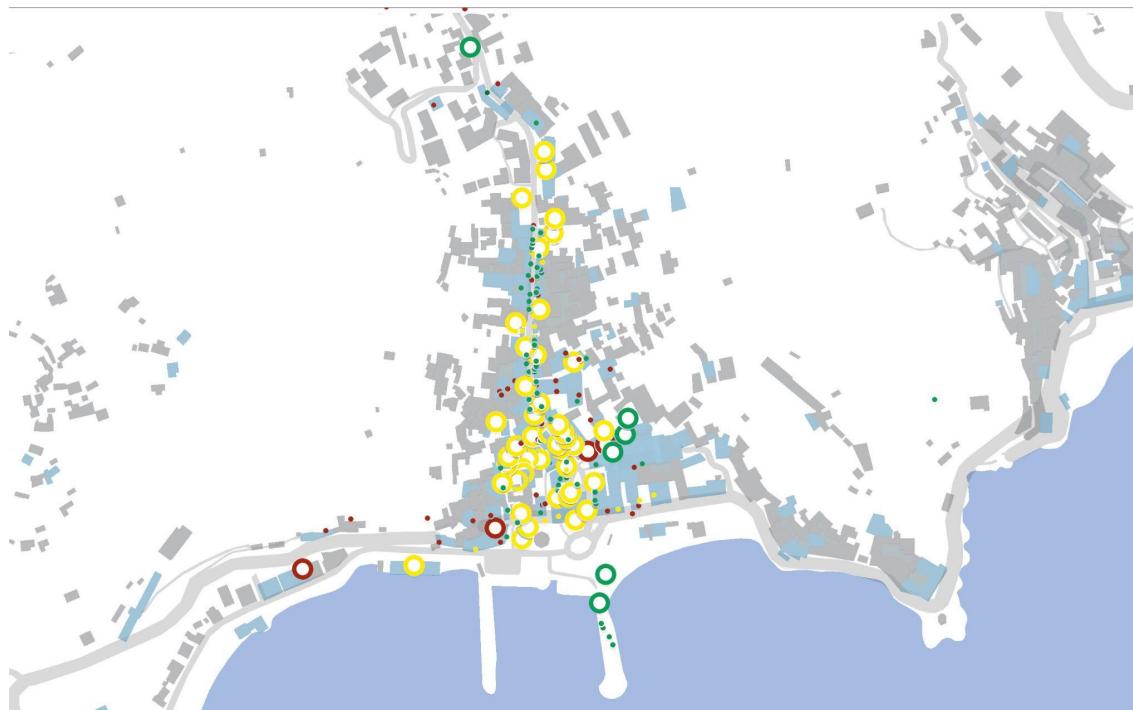


Amalfi

3都市比較した際に、アマルフィはメインストリートでの密度が非常に高い。

また、他都市に比べて大丸が多いことから、各店舗の利用率が高いのではないかと考えられる。

Culture of Tropea - ①観光形態



Amalfi

分析②

観光施設、ホテルに比べて宿泊施設が少ないことから、アマルフィに観光に来る人はアマルフィ以外に宿泊、または日帰りであることが予測される。

Culture of Tropea - ①觀光形態



Procida

Culture of Tropea - ①觀光形態



Procida

Culture of Tropea - ①觀光形態



Procida

Culture of Tropea - ①觀光形態



Procida

Culture of Tropea - ①観光形態



Procida

分析①

他2都市に比べ、同じ範囲内で全体的な密度が低く、また、沿岸部への集中が見られる。

Culture of Tropea - ①観光形態



Procida

分析②

飲食店の数に比べ、宿泊施設も少ないことから、ここもアマルフィ同様プローチダ以外に宿泊、または日帰りであることが予測できる。

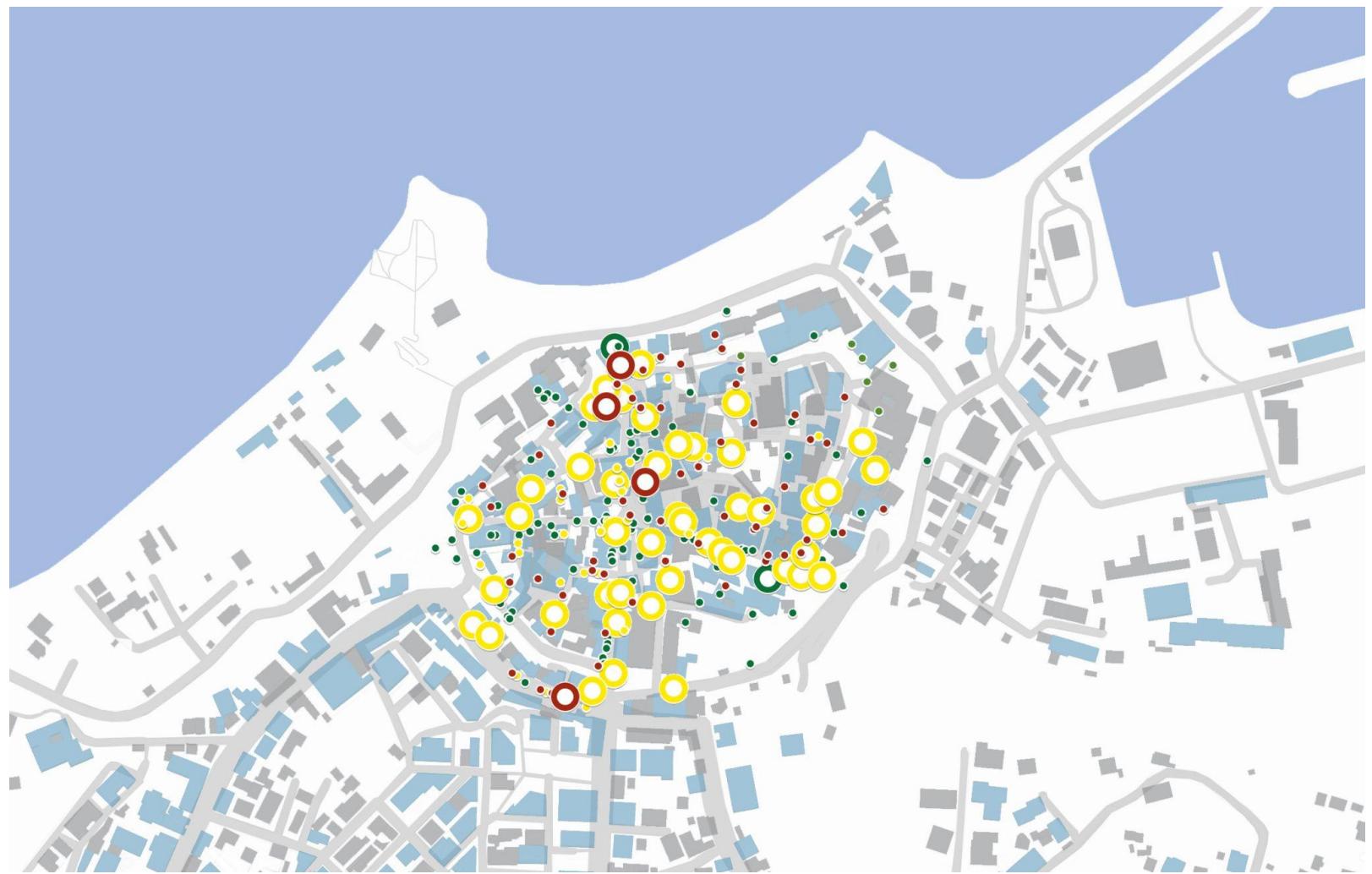
Culture of Tropea - ①觀光形態



Tropea

Tetsuo Kobori Laboratory

Culture of Tropea - ①觀光形態



Tropea

Tetsuo Kobori Laboratory

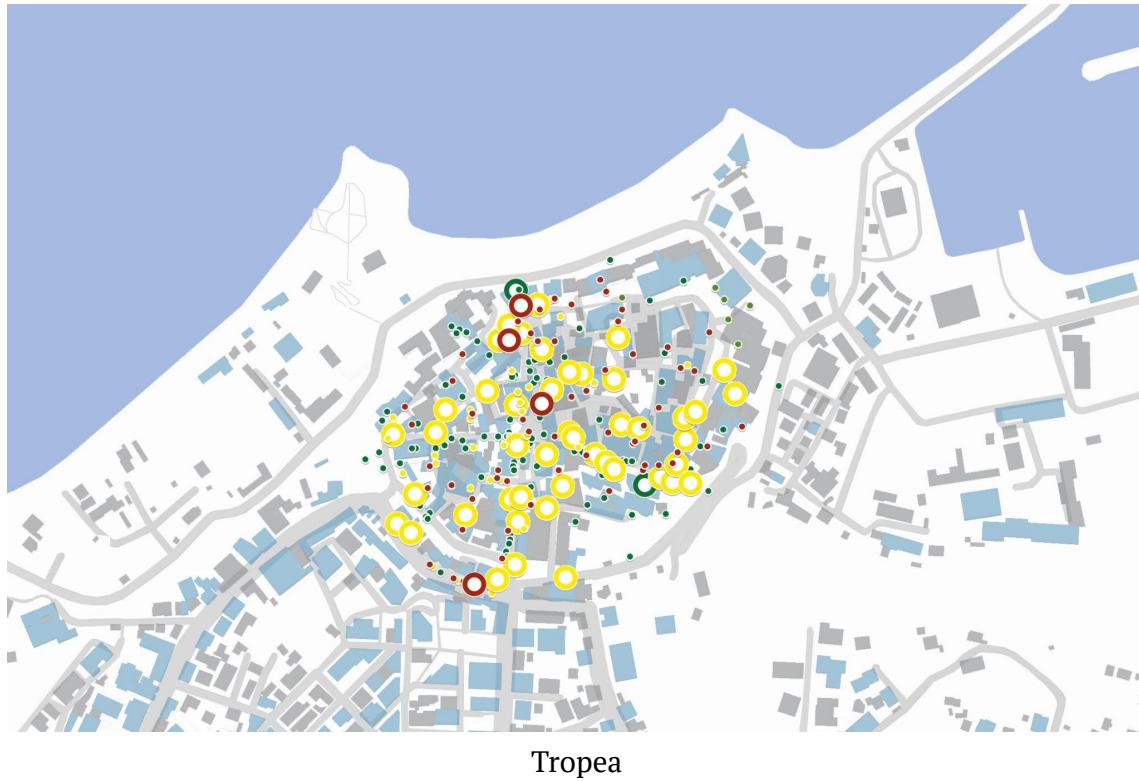
Culture of Tropea - ①觀光形態



Tropea

Tetsuo Kobori Laboratory

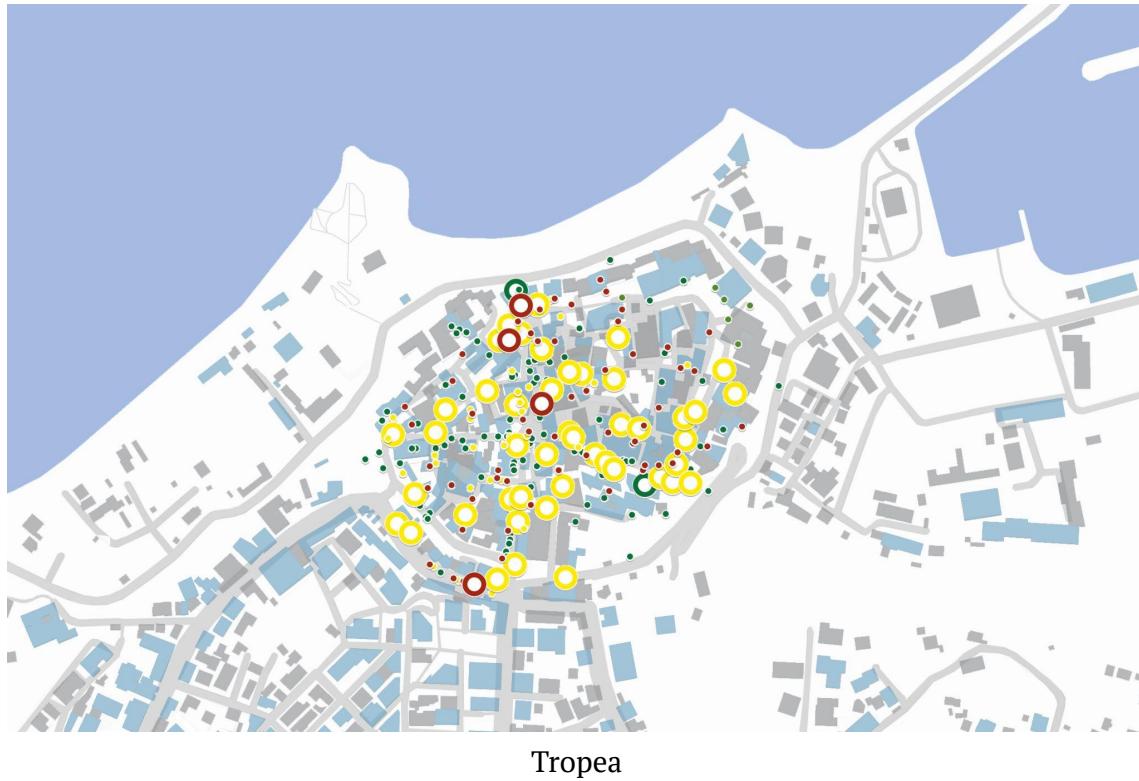
Culture of Tropea - ①観光形態



分析①

トロペーアでは、アマルフィ、プローチダに比べ、3要素のバランスがよく、トロペーアの旧市街で観光、飲食、宿泊の全てが行われているのではないかと考えられる。

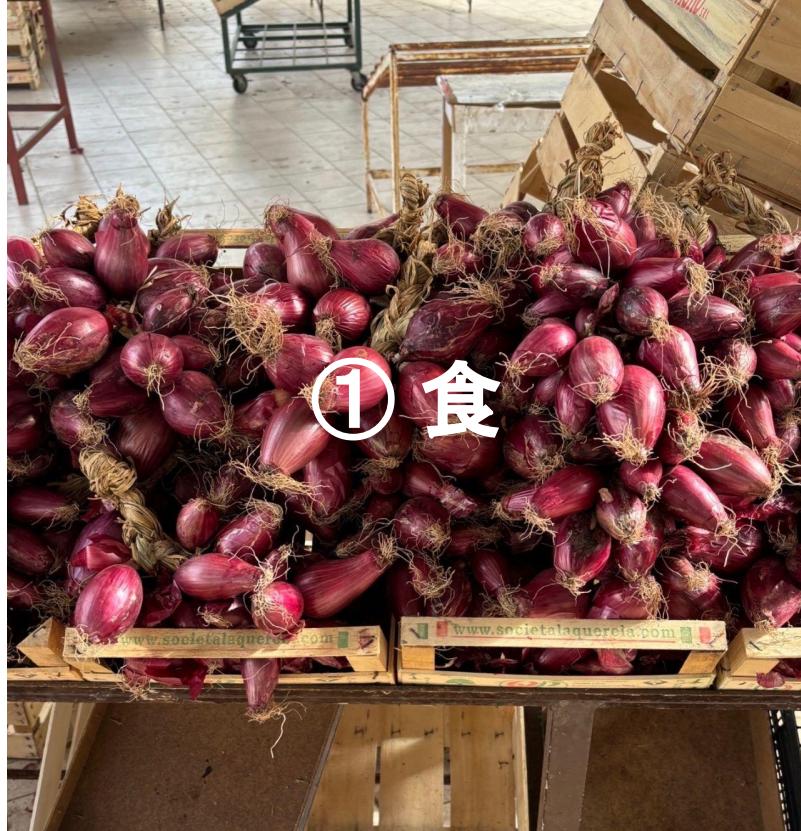
Culture of Tropea - ①観光形態



分析②

オーバーツーリズムの観点では、アマルフィほどではないがプローチダよりは観光客が溢れているように捉えられること、またパルゲリアの住人が「トロペアで溢れたツーリストがパルゲリアにめ流れてくる」と言っていたことから、ここ数年でオーバーツーリズムになりかけているのではないかと考えられる。

Culture of Tropea



Culture of Tropea - ①Industry



そのオーバーツーリズムによって埋もれてしまったテリトーリオを再認識するために、
食文化に着目し、食のテリトーリオに焦点を当てる。

0, Introduction

1, トロペアの現在

- 1) 産業
- 2) 観光形態

2, 食 Territorio

- 1) 調査で感じたギャップ
- 2) Territorio MAP

3, 建築 Territorio

- 1) 空間 Territorio
- 2) 構法 Territorio
- 3) 現地調査

4, 建築提案

- 1) コンセプト
- 2) 分析
- 3) 計画 / 体験

5, Vision

6, 終わりに

Food Territorio



事前調査でTropeaで有名なことがわかつっていた。
実際にヒアリングを通じて商品作物として、
計画的にブランド化がされていった背景を知る。

Food Territorio



ギャップ Gap ①

僕たちは自炊をしていて
初めての夕飯に魚介を探して歩いていたが、どこにもなかった。
現地の人に聞くもトロペアには売ってないと言われ驚いた。

それを機に、野菜や果物、海鮮の産地を調べていくと、
興味深いことが分かった。

Food Territorio

ギャップ
Gap ①



トロペア産と書かれた赤玉ねぎは、実際にはトロペア近郊のパルゲリアで生産されており、伝統的な生産方法での栽培は80%、工業的に収穫の時期をずらしている栽培は20% IGPという玉ねぎ協会によって管理され年中栽培されていた。

Food Territorio

ギャップ
Gap ①

パルゲリアで暮らしている人々は自分達の街で赤玉ねぎを作っているということに誇りを持っている。これこそが、トロペアでは語られない赤玉ねぎの物語である。

Food Territorio



私たちは食による繋がりによって、食文化の再認識を行うことを目的に調査を行いました。

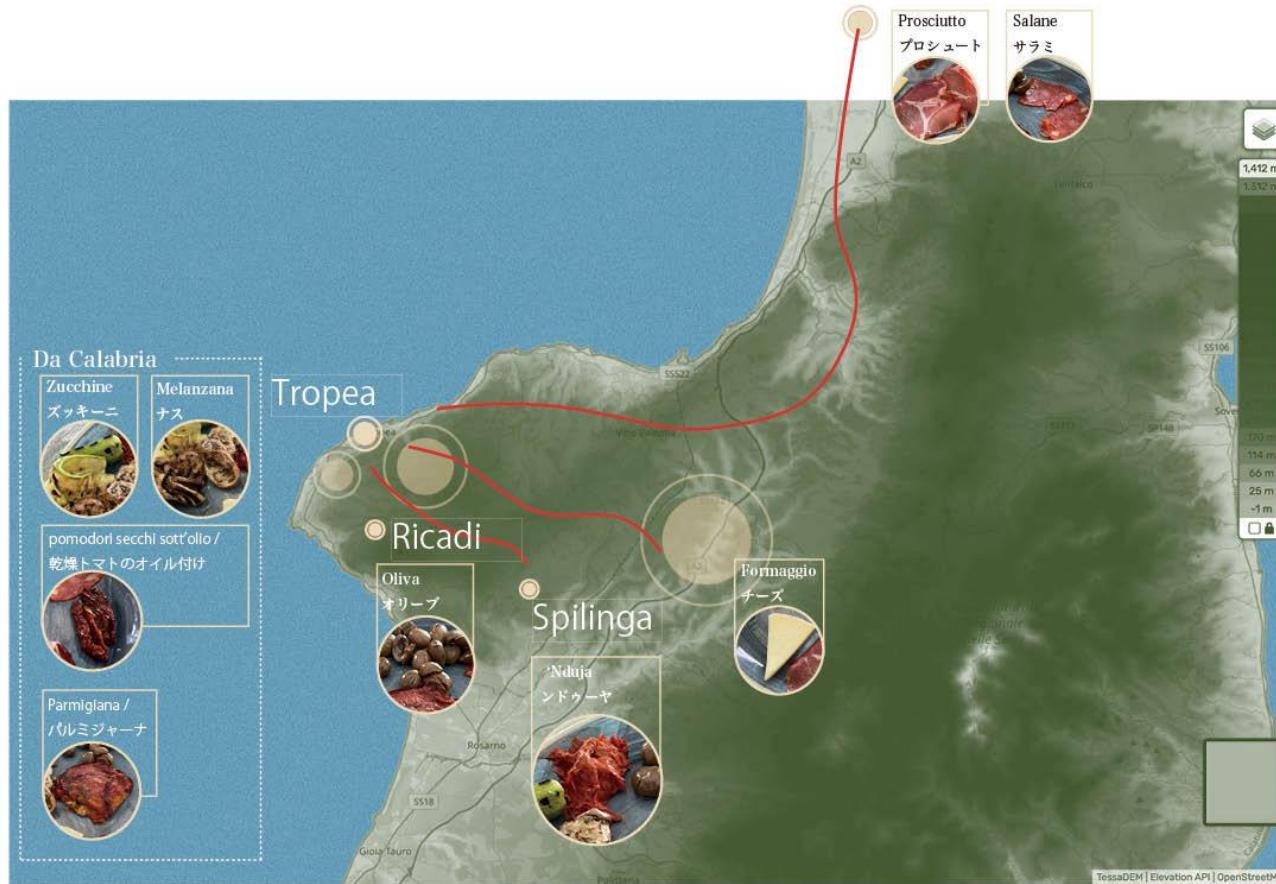
Food Territorio



地元のレストランや宿での自炊をした体験を話します。このプレートの中で注目したものはノドゥーヤという料理です。

これは「スプリング」で生産されていてトロペアに居ながら内陸部である、スプリングの料理を食べることに驚きました。

Food Territorio



プレートの原材料がどこから来ているかを示したMAP

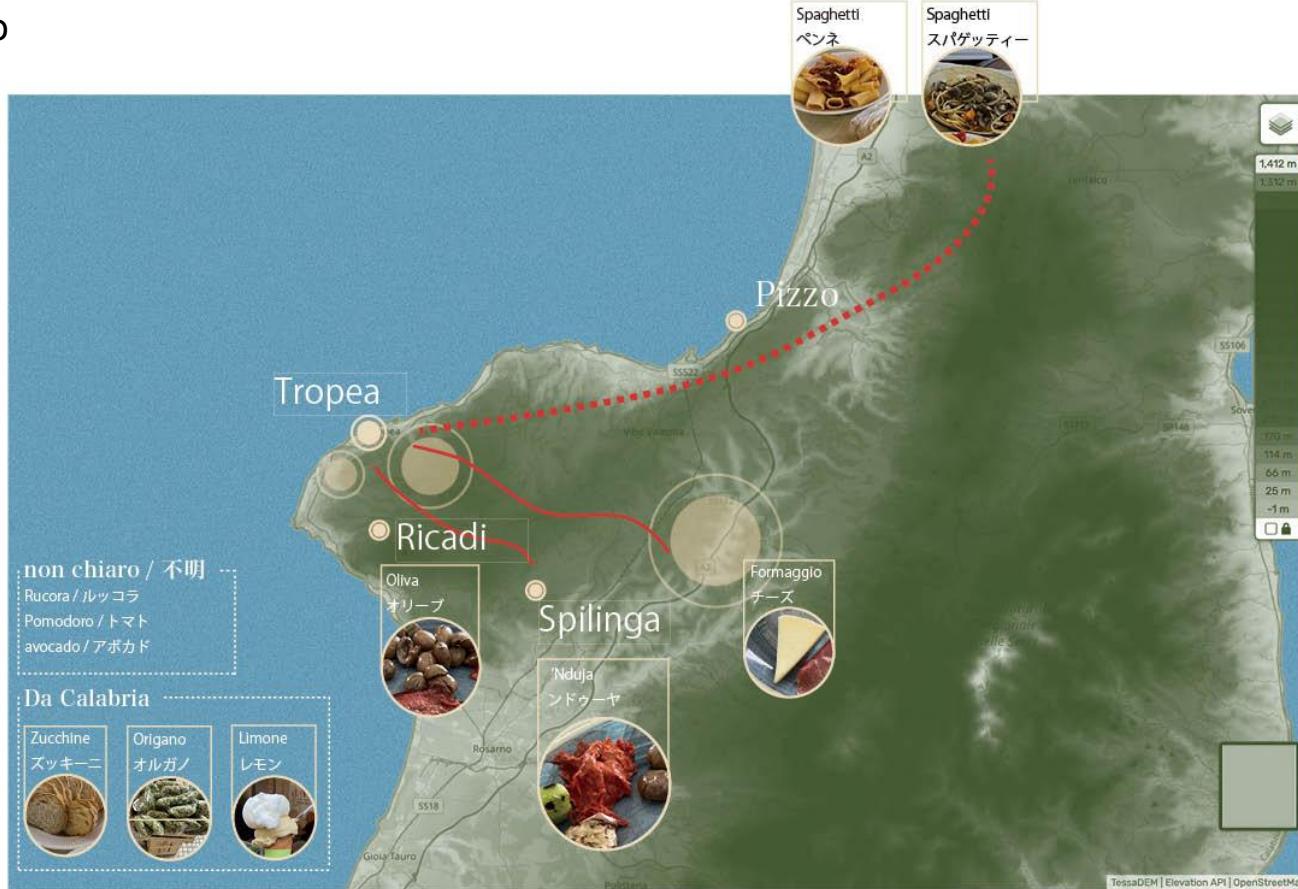
Food Territorio



次はトロペアのスーパーで食材を買ってきて、各々が思う、イタリア料理を作った。

生の海鮮は売っていなかったので、冷凍のものを使い、この料理についても同じく分析を行った。

Food Territorio



調査をしても生産地が分からぬものが多かった。

パスタについては北イタリアから運送されていて、交通の発達により、より広い範囲でより遠くの食材が手に入るようになったと認識した。

Food Territorio



そして原材料地のわからなかつたものを、マーケットに行き調査を行つた。そこから見えてきた食材の全体マップを作成した。

そこで2つ目のギャップを感じた。

Food Territorio



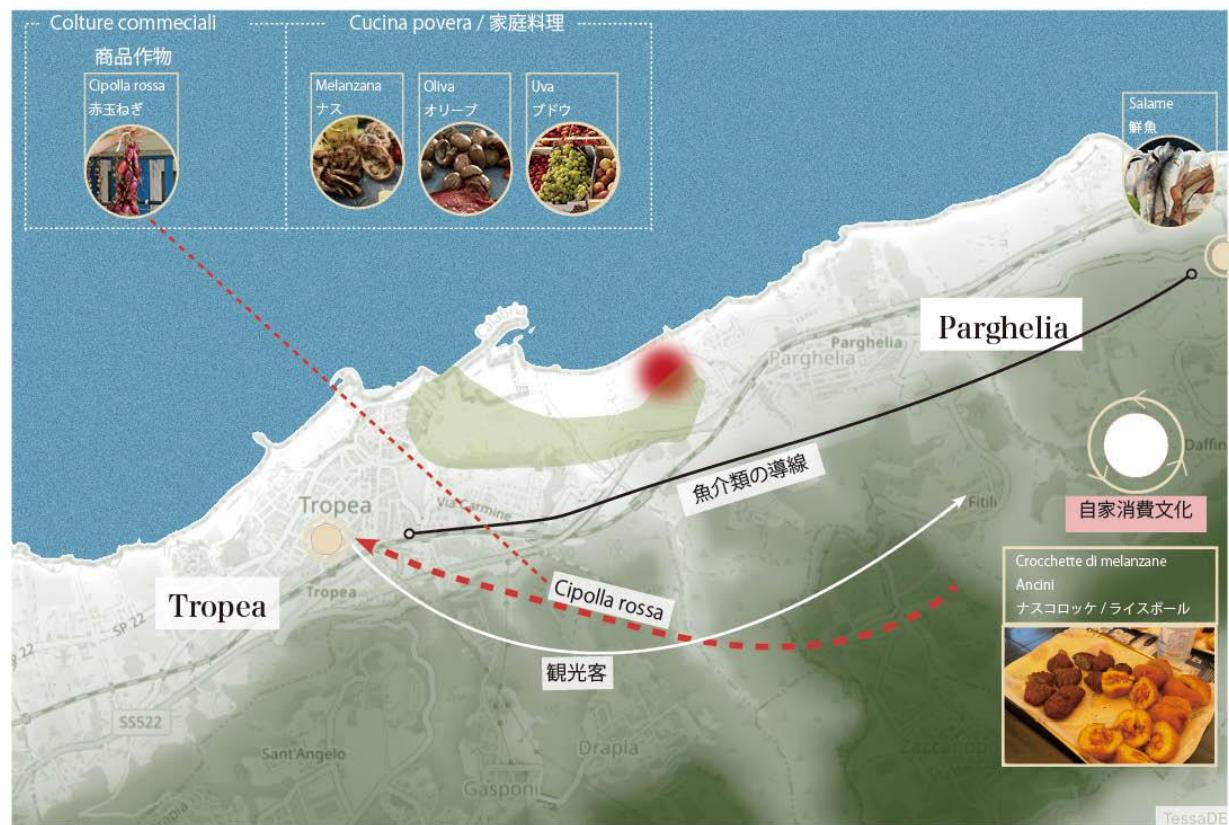
ギャップ Gap ②

【地域が指している範囲に関するギャップ】

私たちは地元という意味合いをもつ「ロカーレ」のワインを飲んでいた。

しかし定義はカラブリア州全体を指していることがわかり、地理的に本当に近くかどうかはわからなかった。diTropeaと書いてあるものだけが、本当に近くで作られていることが調査から分かりました。

Food Territorio



今回の敷地である、トロペアとパルゲリーアの間をクローズアップしてみます。流れを可視化しました。そこでインタビューを行うと、実は30-40年前にはパルゲリーアでは家畜が飼われていて、ブドウや玉ねぎ、オリーブを栽培をしていて自家消費をメインで行っていることをお聞きしました。

Colture commerciali

商品作物

Cipolla rossa
赤玉ねぎ



Cucina povera / 家庭料理

Melanzana
ナス



Oliva
オリーブ



Uva
ブドウ



Salame
鮮魚



Tropea

魚介類の導線

Cipolla rossa

観光客

Parghelia

自家消費文化

Crochette di melanzane

Ancini

ナスコロッケ / ライスボール



TessaDE

Food Territorio



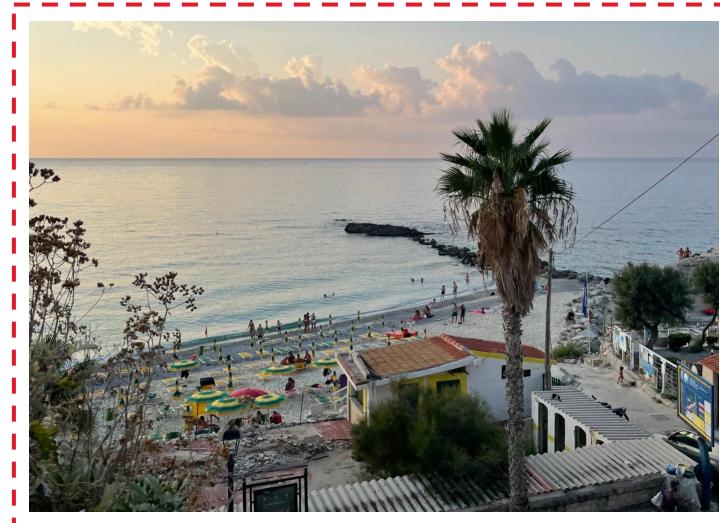
食に関して「クチーナポヴェッラ」というかつて庶民の食を支えていた保存食文化が、現在のパルゲリアにも見られた。重要視されている保存という観点から見ると、地域を理解する上で重要な要素の1つである。

Food Territorio



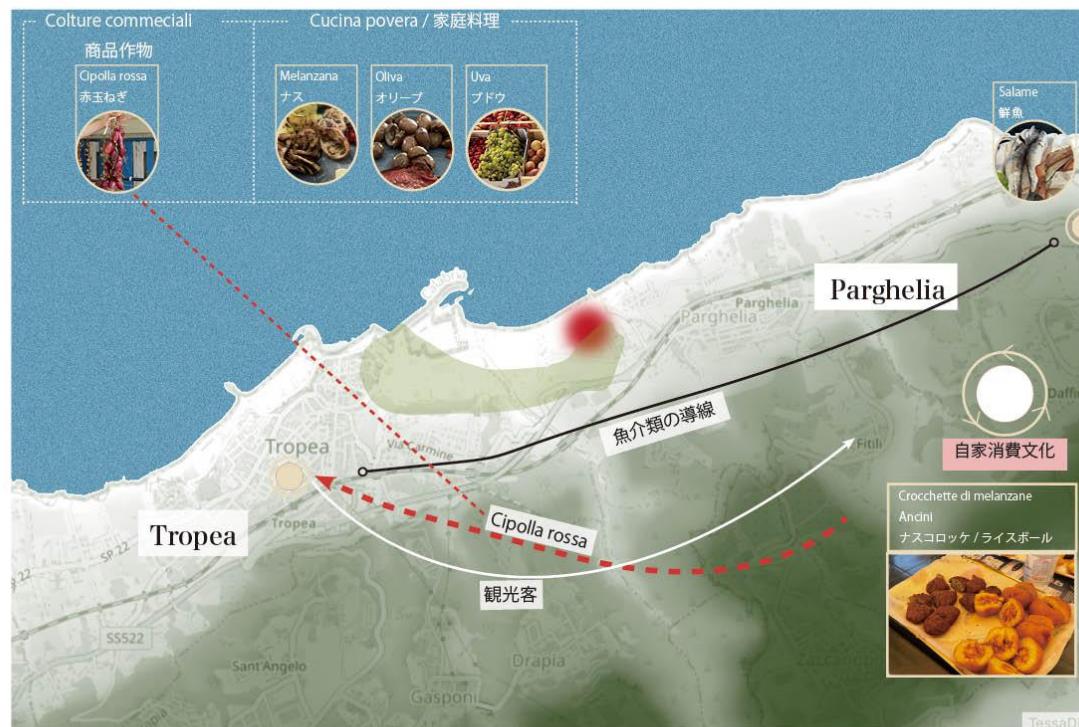
事前調査では、漁師がいるか定かではなかったが、実際に調査を行うと5,6人いることが分かり、今でも自転車で移動販売を行っていることも分かった。

Food Territorio



このように目には見えない都市と都市の相互関係や、かつてあった文化や繋がりが、インタビューベースでの調査によって明らかにしてきた。

Food Territorio



私たちの提案ではテリオーリオを軸にした上で、アグリツーリズムを目的にした、密度の濃い連関をもった建築を提案する。

これらの特性を体験として宿泊施設のプログラムに取り入れることで、かつての文化の継承、魅力の発信を行っていきたい。

0, Introduction

1, トロペアの現在

- 1) 産業
- 2) 観光形態

2, 食 Territorio

- 1) 調査で感じたギャップ
- 2) Territorio MAP

3, 建築 Territorio

- 1) 空間 Territorio
- 2) 構法 Territorio
- 3) 現地調査

4, 建築提案

- 1) コンセプト
- 2) 分析
- 3) 計画 / 体験

5, Vision

6, 終わりに

Architecture Territorio

Architecture

-
- ```
graph LR; A[Architecture] --> B["① 空間 Territorio"]; A --> C["② 構法 Territorio"]
```
- ① 空間 Territorio
  - ② 構法 Territorio

# Architecture Territorio

Architecture

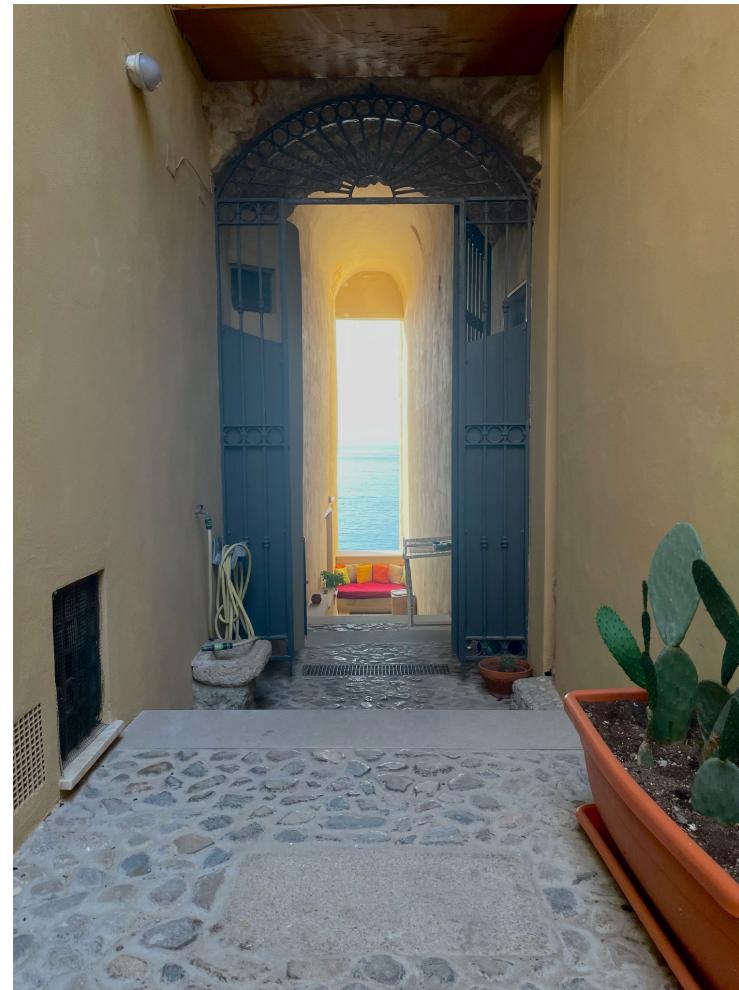


## Architecture Territorio



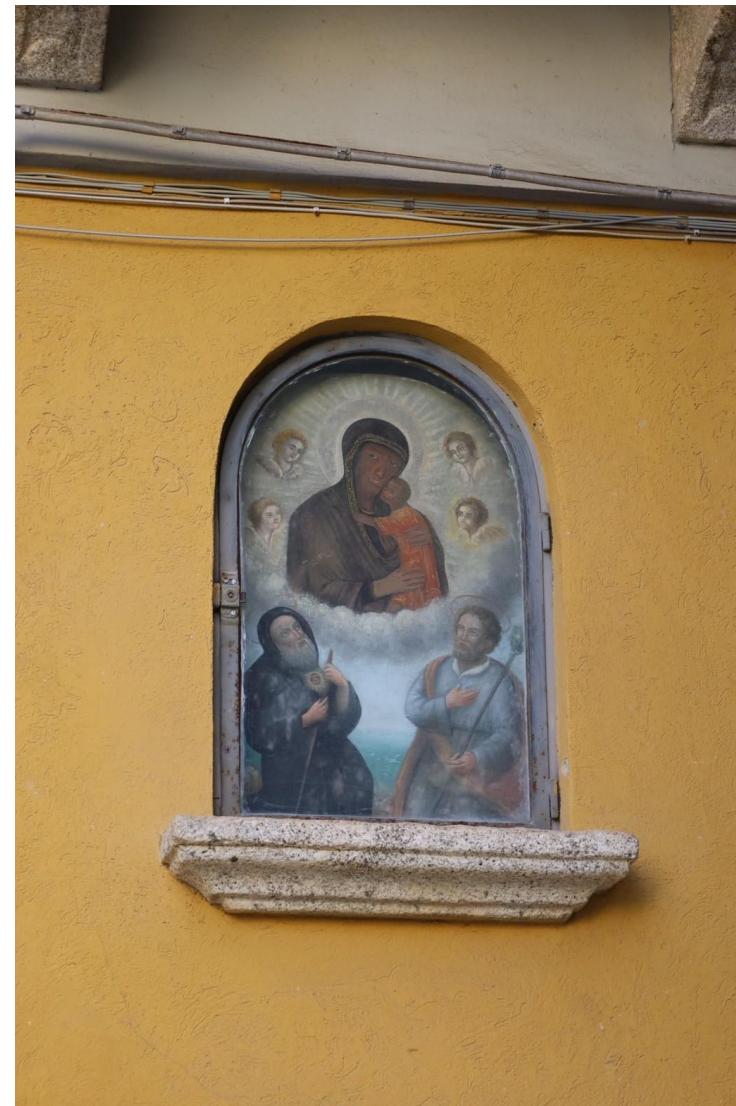
①リーパ - 貿易都市としての名残  
かつてここから釣竿を投げて釣りをしていた

## Architecture Territorio



①リーパ - 貿易都市としての名残  
かつてここから釣竿を投げて釣りをしていた

## Architecture Territorio



②マリア像 - 路地を歩くと視線の先に現れる

## Architecture Territorio



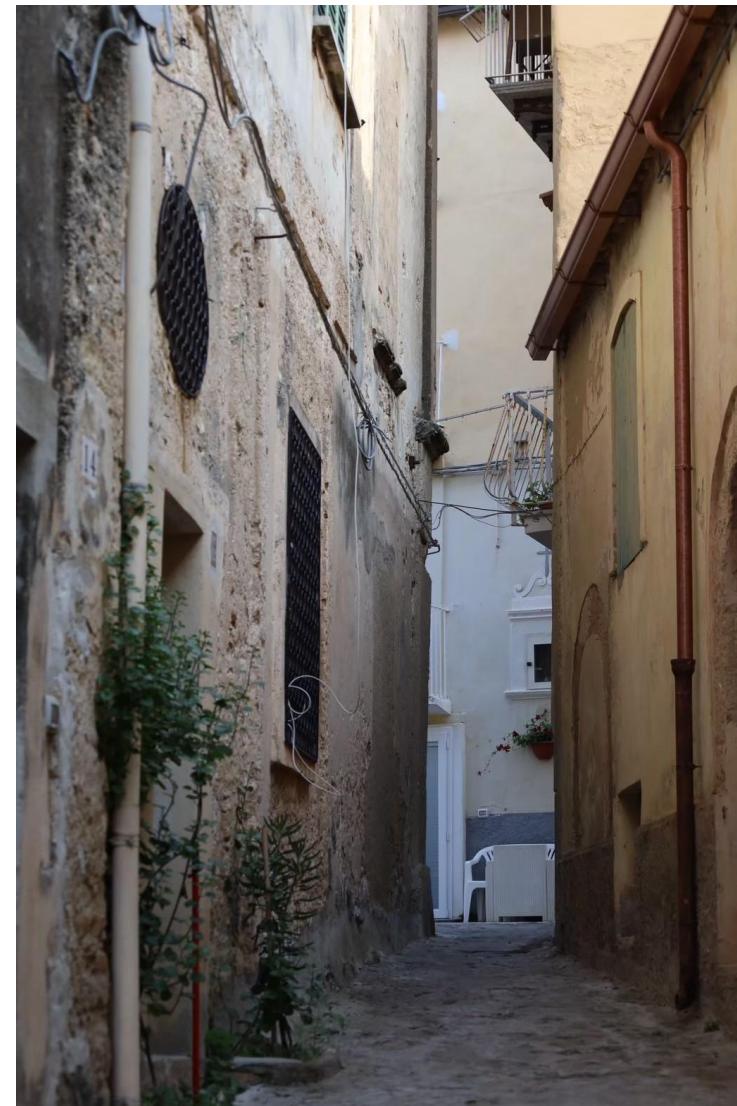
③ラルゴ - 偶発的に生まれた広い空間という特異性がある  
Largo -

## Architecture Territorio



④ビチナート - 日本で言うお隣さん、ご近所さん(範囲)  
vicinato -

## Architecture Territorio



⑤ヴィーコロ - 細い道  
vicolo -

## Architecture Territorio



⑥門 - 花崗岩が使われている  
gate - made of granite

# Architecture Territorio

Architecture



## Architecture Territorio

トロペアとその北東に位置するパルゲリアの境界にあり、かつてブドウと玉ねぎを栽培していた場所。  
現在、俳優のSaverioさんの別荘になっています。



## Culture of Tropea - ②Architecture



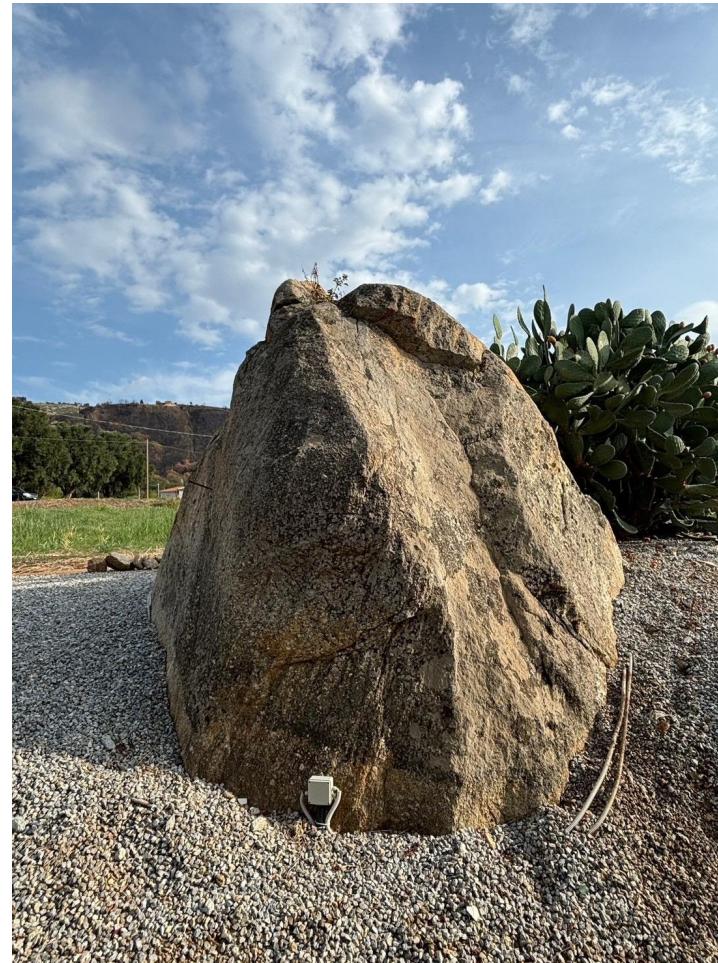
トロペアから計画敷地まで向かう間にもたくさんの葦を見ることができた。

## Culture of Tropea - ②Architecture



トロペアでは建材として葦が屋根に用いられている

## Culture of Tropea - ②Architecture



市内の建築に用いられているGranito(花崗岩)も敷地内に象徴的に存在していた。

## Architecture Territorio



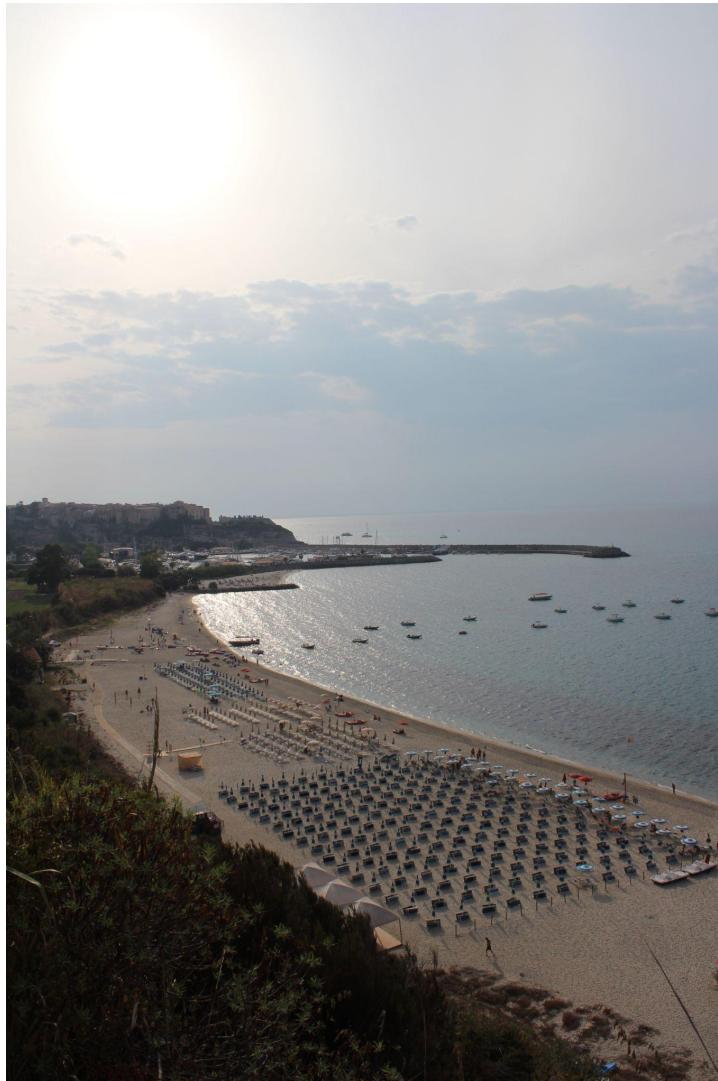
## Architecture Territorio



荷物小屋

Tetsuo Kobori Laboratory

## Architecture Territorio



平坦地から崖上に向かって風が吹く時、剥離流という風が発生し、それを捕まえるような設計を考えていきたい。

## 0, Introduction

### 1, トロペアの現在

- 1) 産業
- 2) 観光形態

### 2, 食 Territorio

- 1) 調査で感じたギャップ
- 2) Territorio MAP

### 3, 建築 Territorio

- 1) 空間 Territorio
- 2) 構法 Territorio
- 3) 現地調査

### 4, 建築提案

- 1) コンセプト
- 2) 分析
- 3) 計画 / 体験

### 5, Vision

### 6, 終わりに

## Architecture Plan

# 食 Territorio



# 建築 Territorio

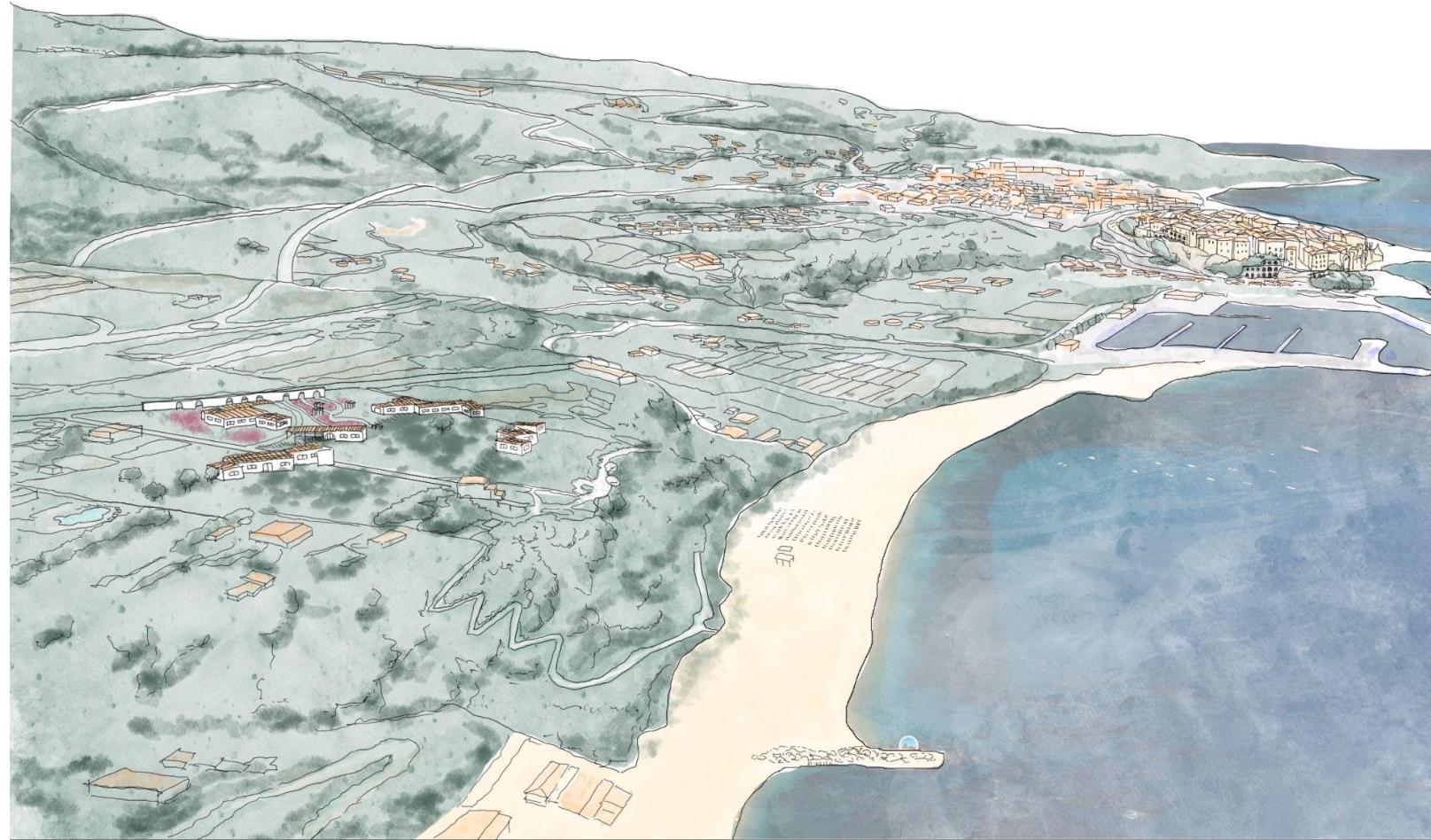
- 1.カザーレ内の産業体験 食のテリトリア
- 2.カザーレ内の空間体験 建築テリトリア

# Tropea Territorio\_PJ

Tropea, Italy

September 5,

2024



Tetsuo Kobori Laboratory

## Architecture Plan



テリトーリオマップから、赤玉ねぎとぶどうとオリーブの3つの食材を扱う。

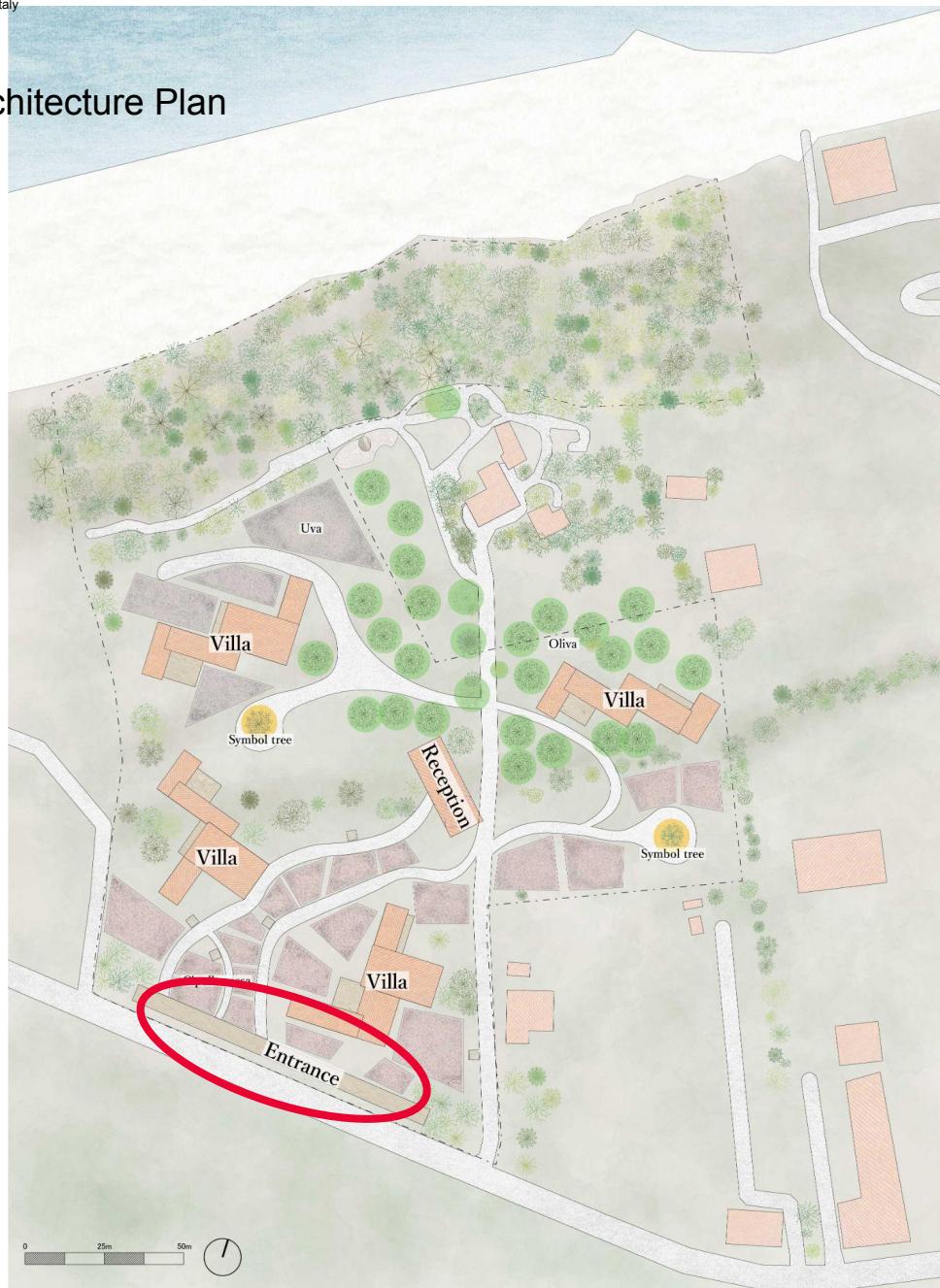
## Architecture Plan



そこでは収穫、保存の体験をすることができる。例えば、収穫したものを新鮮なまま食べたりという地産地消であったり、その保存して収穫できないときの備えを手伝ったりと、農業のリアルな体験をすることができる。

カザーレ内の産業体験と空間体験によって、かつての文化の継承、文化の魅力の発信を行っていく。

## Architecture Plan



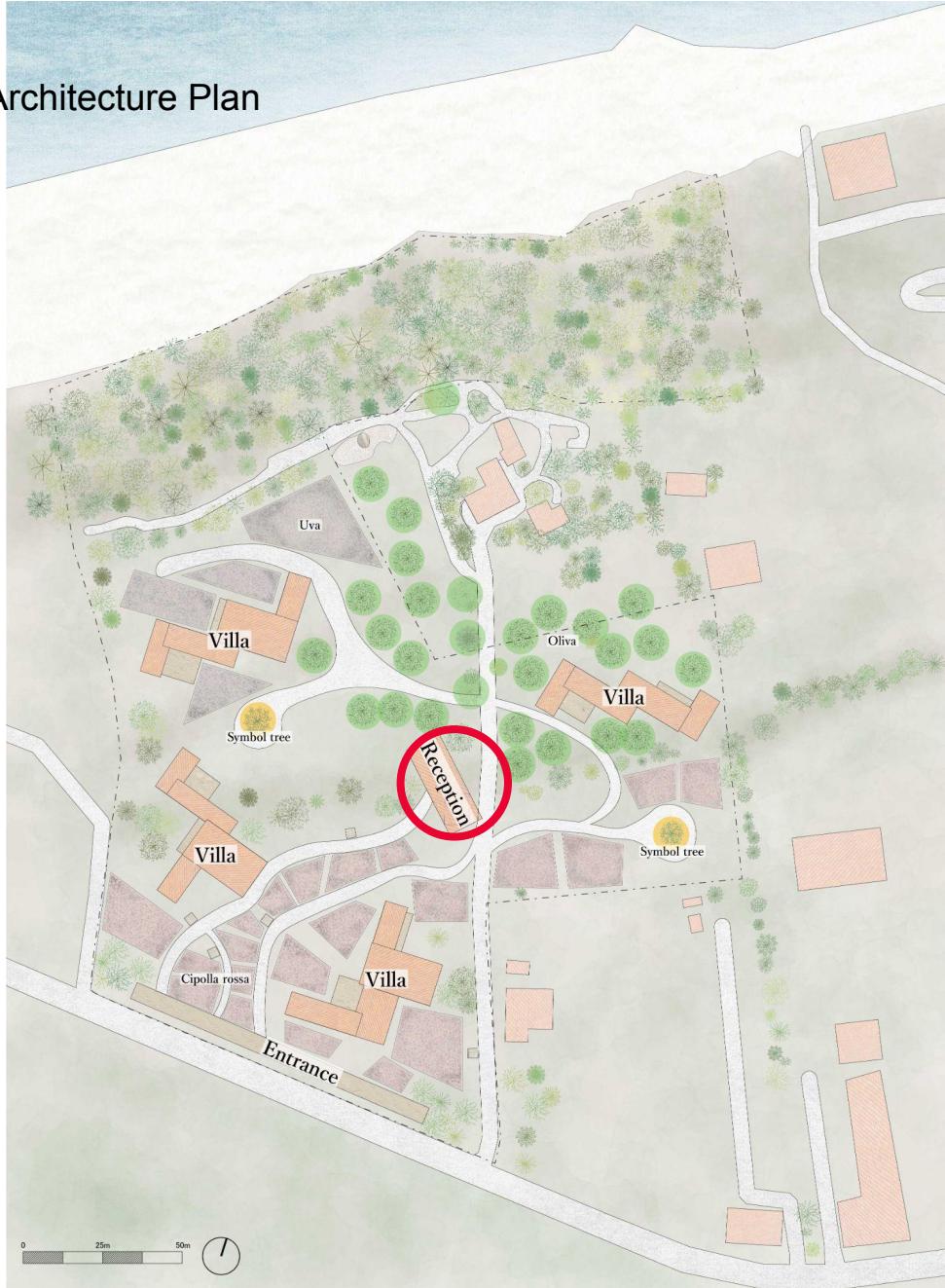
敷地南側からアーチの門をくぐり、中へ入りま  
す。街の漁師が魚を売りに来たり、地元住民が  
買いに来たり、マーケットとして構成しています。  
次に敷地中央にあるレセプションへ進む途中に、  
赤玉ねぎの畑見えます。

## Architecture Plan



メインエントランスにはグラニートでできた門があり、それがこの集落の玄関となります。

## Architecture Plan



その場所にはレセプションと産業体験に必要なツールシェドがあります。

農業体験をしに来た観光客を、農業を伝えに来た地元の農家が出会い、地元住民と観光客のハブとして機能します。

そして、観光客は5つのvillaに向かい、それぞれの畠の特徴を活かした収穫体験や保存体験でカザーレを彩り、また山や海を感じる原風景のなかでときを過ごします。

## Architecture Plan



素材はトロペア、パルゲリアでよく見られるバナキュ  
ラーな日干しレンガ、ヨシ、ビーチの砂を使った道の舗  
装など、ワークショップ形式で取り替えることで建材のテ  
リトーリオがこのカザーレに入り込みます。

## Architecture Plan



レセプション / Reception

Tetsuo Kobori Laboratory

## Architecture Plan



### ③.地形を活かしたヴィラの設計

畑のモジュールが内部まで入り込んでくるゼミパブリックが中ワークショップを行う地形を活かし、コンクリートのスラブで床面をデザインしました。

## 0, Introduction

### 1, トロペアの現在

- 1) 産業
- 2) 観光形態

### 2, 食 Territorio

- 1) 調査で感じたギャップ
- 2) Territorio MAP

### 3, 建築 Territorio

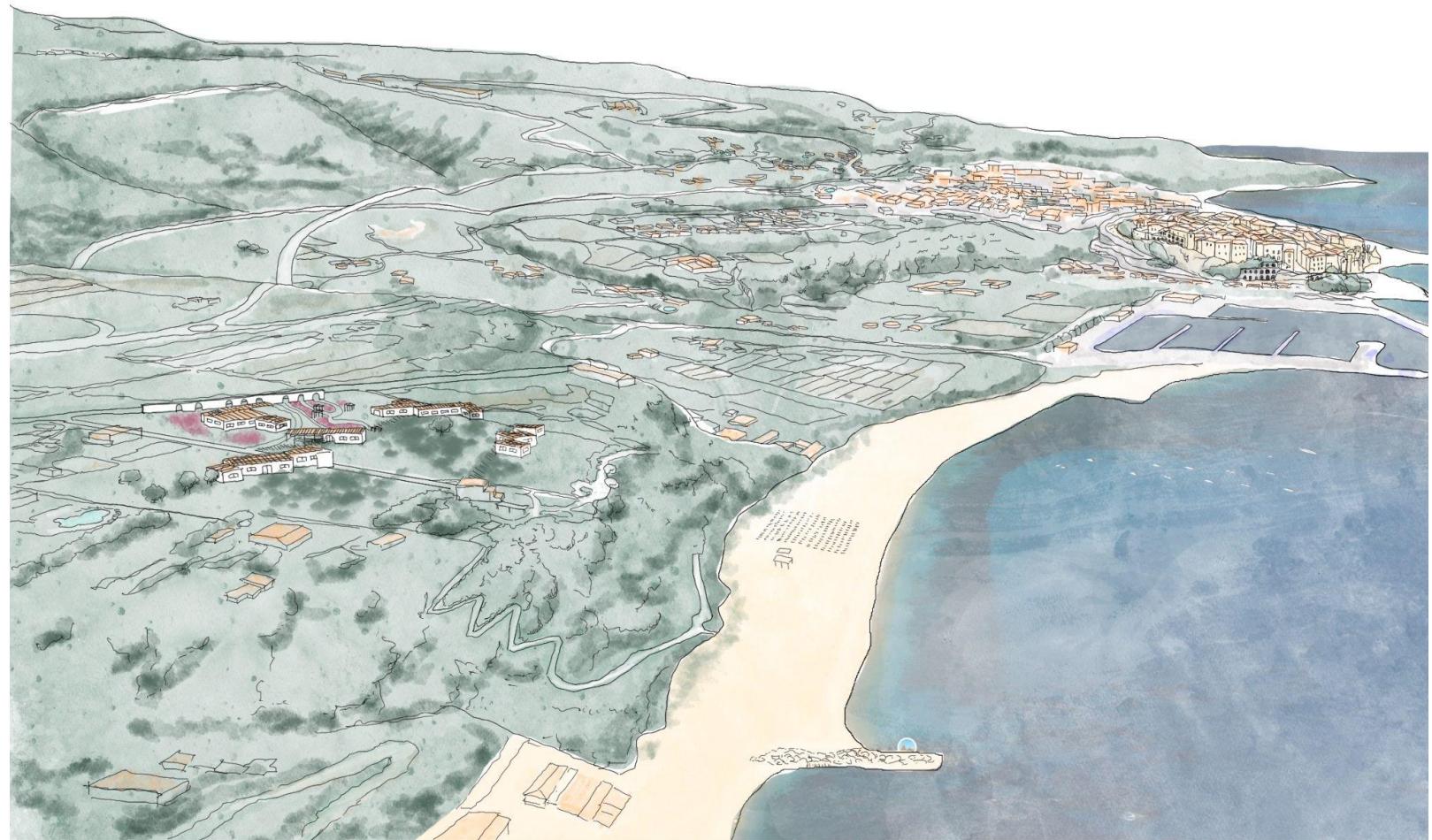
- 1) 空間 Territorio
- 2) 構法 Territorio
- 3) 現地調査

### 4, 建築提案

- 1) コンセプト
- 2) 分析
- 3) 計画 / 体験

### 5, Vision

### 6, 終わりに



私たちの提案が都市に馴染み、使われることで新しい24個目のカザーレとなります。

Tetsuo Kobori Laboratory

## 0, Introduction

### 1, トロペアの現在

- 1) 産業
- 2) 観光形態

### 2, 食 Territorio

- 1) 調査で感じたギャップ
- 2) Territorio MAP

### 3, 建築 Territorio

- 1) 空間 Territorio
- 2) 構法 Territorio
- 3) 現地調査

### 4, 建築提案

- 1) コンセプト
- 2) 分析
- 3) 計画 / 体験

### 5, Vision

### 6, 終わりに

**Grazie per l'attenzione !**